

COROREART Life

カラリアート ライフ

完全水系多彩模様アクリルシリコン塗材

防火認定材料

F☆☆☆☆ アンダーコート M04044

F☆☆☆☆ トップコート M04043

内装用仕上材

環境性

完全水系の為、取り扱いが安心です。
ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆取得、有機化合物による人や環境に与える影響が少なく、環境対応も万全です。

対汚染性

アクリルシリコン樹脂配合の為、耐候性・耐汚染性に優れております。
シリコン樹脂の働きにより塗膜の汚れを浮き出させますので、容易に拭き取ることが出来ます。
(拭き取れる汚れは程度によります。)

防火性

国土交通省認定 日本塗料工業会の防火認定を取得しております。
登録番号……………

施工性

吹き付け用、ローラー用完備のしておりますので現場に合わせた施工が可能です。
飛散、跳ね返りが少なく作業性に優れております。

意匠性

多彩なポイント色の組み合わせによりオリジナリティー溢れる空間を演出します
単色の塗料にはない深い味わいのある塗膜をけ形成します。
全22色の豊富なカラーバリエーションからお好みの色を選べます。

標準施工仕様

| 工程 | 材料 | 塗布量kg/m ² | 塗布回数 | 水希釈 | 塗装間隔 | 塗装器具 |
|------|-------------------------------|----------------------|------|-------|------|------------|
| 素地調整 | 埃、汚れ等の除去。必要であれば、シーラー処理してください。 | | | | | |
| 下塗り | カラリアートライフアンダーコート | 0.1~0.15 | 1 | 4%~6% | 3H以上 | 刷毛、ローラー |
| 上塗り | カラリアートライフ | 0.4~0.5 | 1 | 0 | 4H以上 | 万能ガン「ふくペー」 |
| | | 0.4~0.5 | 1 | 0 | 4H以上 | 「リシンガン」 |

カラリアートLifeの吹き付け条件 (カラリアート吹き付け用と同じ)

塗装器具 : 万能ガン「ふくペー」

口径 : 5.5mm

吹き圧 : 2kgf/cm²

製品荷姿

カラリアートライフアンダーコート 16kg ポリペール缶 106m²~160m²/缶
カラリアートライフ 16kg ポリペール缶 32m²~40m²/缶

施工上の御注意

- 1、カラリアートライフは、施工条件等により模様の差異が生じる可能性があります。
- 2、施工前に必ず施工仕様書を確認し、試し塗りを行なって下さい。
- 3、気温5℃以下、湿度85%以上の条件下での施工は避けてください。
- 4、施工する際は、十分に換気をして下さい。
- 5、カラリアートライフは、攪拌棒などでよくかき混ぜてから御使用下さい。
※斑が潰れてしまいますので、マーゼル等の電動機具での攪拌は絶対に行なわないで下さい。

メーカー株式会社

営業本部 TEL042-468-5111 FAX042-468-5110

大阪営業所 TEL06-6413-0858 FAX06-6413-0859

素地調整マニュアル

新設の場合

- ①石膏ボード面 ジョイント部はパテにて目地処理を行って下さい。
- ②ケイカル板 ジョイント部はパテにて目地処理を行って下さい。
「MKニューケイカルシーラ」にて板材の吸い込み止めを行ってから塗装して下さい
- ③コンクリートモルタル 十分に乾燥（含水率10%、PH10以下）させて下さい。
含水率、アルカリ分に注意し、それらが十分に低下したところで塗装して下さい。
- ・クラックのある場合 ①クラック部分をVカットして下さい。
②弾性系シーリングを充填して下さい
③樹脂モルタルにて埋め戻しを行って下さい。
 - ・ピンホールのある場合 ①3mm以上：樹脂モルタルにて埋め戻しを行って下さい
②3mm未満：カチオンタイトF又は速乾タイプのスーパーカチオン#200にて補修して下さい。
 - ・凸凹や目違いのある場合 ①凸部はサンダーにて平滑にして下さい。
②水洗い後、乾燥させて下さい
③凹部はカチオンタイトF又は速乾タイプのスーパーカチオン#200にて補修して下さい。
- ④鉄部 錆止めプライマーにて錆止め処理を行って下さい。
※錆止めプライマーの種類によっては、塗料が密着しないものもあります。
- ⑤木部 水分を含んでる場合は十分乾燥させて下さい。
ジョイント部等パテ処理をする際は「MKダンパテ」等の弾性系のパテを使用して下さい

改修の場合

①クロス面

クロスを剥がして塗装する場合

クロスを剥がす際は、出来るだけ裏紙を剥がしてください。
裏紙の残った箇所には「リウォールパテ」を塗布し、
「MKスーパーパテ」等の仕上げパテで不陸調整を行って下さい。

クロスを剥がさず塗装する場合

シミがある場合は「MKシミ止め」を塗布して下さい。
クロスのパターンを消したい場合は、「MKクロスファイラー」を塗布して下さい。
※クロスの種類によっては塗料が密着しないものもあります。

クロスの浮き、膨れがある場合はクロスを剥がして下地調整を行って下さい。
クロスのジョイント部に目開きがある場合は、カッターなどで切りとって下さい
必要であれば、タッカー等で打ち付けて下さい。

②旧塗膜面

水性塗料の場合

塗膜の浮きや剥がれている箇所を除去してから塗装に入ってください。

溶剤系塗料の場合

ローラー工法
ベージュ仕上げ

| 工程 | 使用材料 | 塗装回数 | 希釈率 (%) | 塗布量 (kg/m ²) | 乾燥時間 | 施工器具 |
|------|---|------|---------|--------------------------|-------|--------------|
| 下地調整 | ゴミ、汚れ、油分等を十分に除去して下さい。必要であればシーラーを塗布して下さい | | | | | |
| 下塗り | Lifeアンダーコート | 1回 | 4~8 | 0.1~0.15 | 3時間以上 | 刷毛、ローラー、スプレー |
| 上塗り | カラリアートLife | 1回 | 0 | 0.4~0.5 | 4時間以上 | 砂骨ローラー (中目) |

- 【養生】
- ・施工面以外に材料が付着しないように養生テープ・ビニール等で十分に養生して下さい。
 - ・ペイント塗装面は①粘着力の弱いテープ(紙テープ)で捨て貼り後、②ガムテープ付きのロールマスカーで養生を行って下さい。
 - ・その際、施工面から吹き厚み程度逃げて養生して下さい。
 - ・上塗り終了後、早い時期に養生は外して下さい。乾燥後に取る場合はカッターナイフ等で切れ目を入れてから除去する様にして下さい。

【材料の調整】

- ・Lifeアンダーコートは若干量の水(4~8%)を加えハンドミキサーで充分攪拌して下さい。
- ・カラリアートLifeは無希釈で使用して下さい。開缶後は塗料が均一になる様、柄杓等で穏やかに混ぜて下さい。マーゼル(電動ミキサー)の様な高速回転の攪拌機を使用しますと模様を形成する粒子が破壊されますので絶対に使用しないで下さい。

【荷姿・容量】

| | | | |
|-------------|------|-------|-------------------------|
| Lifeアンダーコート | 16kg | ボリバル缶 | 80~160m ² /缶 |
| | 4kg | ボリバル缶 | 20~40m ² /缶 |
| カラリアートLife | 16kg | ボリバル缶 | 64~80m ² /缶 |
| | 4kg | ボリバル缶 | 16~20m ² /缶 |

- ・上記の数値は全て標準値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、施工条件により、増減しますので、事前に試し塗りをを行い確認して、本施工に入して下さい。

【塗装方法】

下塗り

- ・調整したLifeアンダーコートをウールローラーで下地が完全に隠れいする様に塗装して下さい。隠れい不足は仕上がりムラ、色ムラの原因となりますので入念に行なって下さい。
- ・低温下で施工する場合、Lifeアンダーコートは完全に乾いている事を確認してから上塗りの施工を行って下さい。

上塗り

- ・調整したカラリアートLifeを予め充分含ませた砂骨ローラーで塗装します。この際、ベアで作業を行うと良いでしょう。1人が全体に配り塗りをを行い、追いかけでもう1人が、ローラーを縦横に2往復づつゆくり移動させながらパターンが均一になる様に整えて下さい。何度もローラーを転がしたり、ローラーを強く被塗装面に押し当てると、色のゲルが細かくなり仕上がりムラ、色ムラの原因になりますのでご注意ください。
- ・サンプルを見ながら色相、パターン等を合わせる様、テスト塗りを行って施工条件を決めて下さい。
- ・パターン付けの際は長い距離を一気に転がさず、手の届く範囲で作業して下さい。
- ・パターン付けは1回で仕上がる様にして下さい。塗り直しが必要な場合は上塗りが乾燥してから、部分補修を行って下さい。
- ・面内での塗り継ぎは、継ぎムラが発生する場合がありますので、素早く作業を行って下さい。大壁への施工には装飾養生をお勧めします。
- ・部分的に塗布量が多すぎたり、少なすぎたりすると色ムラになる場合がありますのでご注意ください。
- ・バケツには充分な材料を準備して下さい。ローラーに材料を含ませる際、バケツにローラーを押し当てたりしますと色のゲルが細かくなり、仕上がりムラになりますのでご注意ください。
- ・コーナー部、開口部等、ローラー塗装が行いにくい箇所については、コーナーローラー、ウィンナーローラー、刷毛等でパターンを合わせながら施工して下さい。
- ・複数の塗り手で仕上げる場合は、必ず相互の仕上がり箇所が揃うように事前に打合せを行って下さい。
- ・最終養生時間は16時間以上として下さい。
- ・汚れ、傷等により補修作業が発生する場合がありますので、使用した塗料の控えは必ず保管しておき同ロットによる材料で同じ塗装作業を行って下さい。

吹付け工法

スパッタ仕上げ

| 工程 | 使用材料 | 塗装回数 | 希釈率 (%) | 塗布量 (Kg/m ²) | 乾燥時間 | 施工器具 |
|------|---|------|---------|--------------------------|-------|--------------|
| 下地調整 | ゴミ、汚れ、油分等を十分に除去して下さい。必要であればシーラーを塗布して下さい | | | | | |
| 下塗り | Lifeアンダーコート | 1回 | 4~8 | 0.1~0.15 | 3時間以上 | 刷毛、ローラー、スプレー |
| 上塗り | カラリアートLife | 1回 | 0 | 0.2~0.25 | 4時間以上 | 万能ガン、リシンガン |

※万能ガンは、「ふくべー」又は「ニューマルチガン」を使用して下さい。

口径5mmを使用し、吹き圧は1, 5kg~2kgに手元で調節して下さい。

【養生】

- ・施工面以外に材料が付着しないように養生テープ・ビニール等で十分に養生して下さい。
- ・ペイント塗装面は①粘着力の弱いテープ(紙テープ)で捨て貼り後、②ガムテープ付きのロールマスカで養生を行って下さい。
- ・その際、施工面から吹き厚み程度逃げて養生して下さい。
- ・上塗り終了後、早い時期に養生は外して下さい。乾燥後に取り除く場合はカッターナイフ等で切れ目を入れてから除去する様にして下さい。

【材料の調整】

- ・Lifeアンダーコートは若干量の水(4~8%)を加えハンドミキサーで充分攪拌して下さい。
- ・カラリアート吹付用は無希釈で使用して下さい。開缶後は塗料が均一になる様、柄杓等で穏やかに混ぜて下さい。マーゼル(電動ミキサー)の様な高速回転の攪拌機を使用しますと模様を形成する粒子が破壊されますので絶対に使用しないで下さい。

【荷姿・容量】

| | | | |
|-------------|------|--------|-------------------------|
| Lifeアンダーコート | 16kg | ポリバール缶 | 80~160m ² /缶 |
| | 4kg | ポリバール缶 | 20~40m ² /缶 |
| カラリアートLife | 16kg | ポリバール缶 | 64~80m ² /缶 |
| | 4kg | ポリバール缶 | 16~20m ² /缶 |

- ・スパッタ仕上げの場合は、ベジック仕上げの塗布量にして下さい。
- ・上記の数値は全て標準値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、施工条件により、増減しますので、事前に試し塗りをを行い確認して、本施工に入って下さい。

【塗装方法】

下塗り

- ・調整しLifeアンダーコート吹付用をスプレーガン又はウールローラーで下地が完全に隠れいする様に塗装して下さい。隠れい不足は仕上がりがムラ、色ムラの原因となりますので入念に行ってください。
- ・低温下で施工する場合、Lifeアンダーコートが完全に乾いている事を確認してから上塗りの施工を行ってください。

上塗り

- ・調整したカラリアートLifeを万能ガン(ふくべー)が被塗装面に対して垂直になる様に保ち30~40cm程度の距離で一定の吹き圧とスピードで正面から塗装します。斜めからの吹き付けは塗料の片寄り、吹きムラの原因となります。
- ・サンプルを見ながら色相、パターンを合わせる様、手元で空気量を微調整して下さい。
- ・ガンの口金が磨耗したものの使用は吹きムラの原因になりますので、定期的に新しいものと交換するようにして下さい。
- ・コンプレッサーは2馬力以上のもので出力に余裕のあるものを使用して下さい。
- ・一度に規定量を塗布するとタレや色ムラが生じる危険性がありますので2回に分けて塗装して下さい。
- ・部分的に塗布量が多すぎたり、少なすぎたりすると色ムラになる場合がありますのでご注意ください。
- ・複数の吹き手で仕上げる場合は、必ず相互の仕上がりが揃うように事前に打合せを行ってください。
- ・最終養生時間は16時間以上として下さい。
- ・汚れ、傷等により補修作業が発生する場合がありますので、使用した塗料の控えは必ず保管しておき同ロットによる材料で同じ塗装作業を行ってください。

吹付け工法

ベーシック仕上げ

| 工程 | 使用材料 | 塗装回数 | 希釈率 (%) | 塗布量 (Kg/m ²) | 乾燥時間 | 施工器具 |
|------|---|------|---------|--------------------------|-------|--------------|
| 下地調整 | ゴミ、汚れ、油分等を十分に除去して下さい。必要であればシーラーを塗布して下さい | | | | | |
| 下塗り | Lifeアンダーコート | 1回 | 0 | 0.1~0.15 | 3時間以上 | 刷毛、ローラー、スプレー |
| 上塗り | カラリアートLife | 1回 | 0 | 0.4~0.5 | 4時間以上 | 万能ガン、リシンガン |

※万能ガンは、「ふくべー」又は「ニューマルチガン」を使用して下さい。
口径5mmを使用し、吹き圧は1, 5kg~2kgに手元で調節して下さい。

- 【養生】
- ・施工面以外に材料が付着しないように養生テープ・ビニール等で十分に養生して下さい。
 - ・ペイント塗装面は①粘着力の弱いテープ(紙テープ)で捨て貼り後、②ガムテープ付きのロールマスキングで養生を行って下さい。
 - ・その際、施工面から吹き厚み程度逃げて養生して下さい。
 - ・上塗り終了後、早い時期に養生は外して下さい。乾燥後に取る場合はカッターナイフ等で切れ目を入れてから除去する様にして下さい。

【材料の調整】

- ・Lifeアンダーコートは若干量の水(4~8%)を加えハンドミキサーで充分攪拌して下さい。
- ・カラリアートLifeは無希釈で使用して下さい。開缶後は塗料が均一になる様、柄杓等で穏やかに混ぜて下さい。マーゼル(電動ミキサー)の様な高速回転の攪拌機を使用しますと模様を形成する粒子が破壊されますので絶対に使用しないで下さい。

【荷姿・容量】

| | | | |
|-------------|------|--------|-------------------------|
| Lifeアンダーコート | 16kg | ボリバー#缶 | 80~160m ² /缶 |
| | 4kg | ボリバー#缶 | 20~40m ² /缶 |
| カラリアートLife | 16kg | ボリバー#缶 | 64~80m ² /缶 |
| | 4kg | ボリバー#缶 | 16~20m ² /缶 |

- ・上記の数値は全て標準値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、施工条件により、増減しますので、事前に試し塗りをを行い確認して、本施工に入して下さい。

【塗装方法】

下塗り

- ・調整したカラリアートアンダーコート吹付用をスプレーガン又はウールローラーで下地が完全に隠れる様に塗装して下さい。隠れ不足は仕上がりがムラ、色ムラの原因となりますので入念に行ってください。
- ・低温下で施工する場合、カラリアートアンダーコート又はカラリアートアンダーコートSが完全に乾いている事を確認してから上塗りの施工を行ってください。

上塗り

- ・調整したカラリアート吹付用を万能ガン(ふくべー)が被塗装面に対して垂直になる様に保ち30~40cm程度の距離で一定の吹き圧とスピードで正面から塗装します。斜めからの吹き付けは塗料の片寄り、吹きムラの原因となります。
- ・サンプルを見ながら色相、パターンを合わせる様、手元で空気量を微調整して下さい。
- ・ガンの口金が磨耗したものの使用は吹きムラの原因となりますので、定期的に新しいものと交換するようにして下さい。
- ・コンプレッサーは2馬力以上のもので出力に余裕のあるものを使用して下さい。
- ・一度に規定量を塗布するとタレや色ムラが生じる危険性がありますので2回に分けて塗装して下さい。
- ・部分的に塗布量が多すぎたり、少なすぎたりすると色ムラになる場合がありますのでご注意ください。
- ・複数の吹き手で仕上げる場合は、必ず相互の仕上がりが揃うように事前に打合せを行ってください。
- ・最終養生時間は16時間以上として下さい。
- ・汚れ、傷等により補修作業が発生する場合がありますので、使用した塗料の控えは必ず保管しておき同ロットによる材料で同じ塗装作業を行ってください。